

関西詩人協会会報

第99号

2020.10.1

発行者 左子真由美

関西詩人協会第27回総会の「集会」を中止します

昨年の総会は以倉紘平氏に講演していただいて、部屋いっぱい101名の会員内外の参加を得て、気をよくしておりましたが、1月頃から日本列島に上陸したコロナ禍は都市部を中心に猛威をふるい、衰える処を知りません。

今年8月15日の第5回運営委員会は第27回総会の中止を決定しました。

理由は都市を中心に蔓延しています新型コロナウイルス (COVID-19) のためです。この前日14日も200人に迫る感染者数でした。「大阪へ行くな!」という話が納まっているのを良いことに、こわごわながら大阪は勿論、神戸・京都からも委員は集まり検討しました。

そして、

- 関西詩人協会も他の詩団体に負けず高齢化が進んでいること。
 - 会員の滞在している地域が広いこと。
 - 感染者数は波があり、11月にはもっと大きな波が来ている可能性があり、当日参加者が少なすぎると総会成立しない可能性もあること。
 - 現在進めている会場では政府のいう2メートル離れての着席では少人数しか収容できず、更に大きな会場を探す必要があること。
- 等を検討して、今回は各会員に資料をお届けし、お返事の葉書をもって総会の代わりとする事にしました。

今回の総会は11月22日にキャッスルホテルを早くから予約し、講演は明治の詩人「伊良子清白」を祖父に持たれる、映画評論家の伊良子序さんをお願いしようと準備をしておりましたのに、残念です。

総会の具体的な方法としては

- 10月末か11月初めに総会資料を会員各位にお送りします。
- 同封のハガキに「承認」「非承認」の○を入れて返送して頂きます。
- 11月22日に臨時運営委員会を開きハガキの確認をもって総会を成立させたいと思っています。
- 今回は委任状はありません。直接の諾・否の御返事を頂けますよう。

今回は役員改選の年でありますので、会場の前に並んで賑々しくお披露目とご承認を頂くところですが、これも残念です。

はやくこれが納まって沢山の会員で集まりたいと思っています。

(文責 永井ますみ)



関西詩人協会・イベント2020 中止決定について

今年早々から蔓延したコロナ・ウイルスの感染者は半年を過ぎても衰えず、七月から八月にかけて開催地である大阪では、東京に次いで増える状況となりました。

これまでの運営委員会ではもう少し推移を見ようという楽観的な見方がありましたが、安全を第一に配慮し、ここに至っては危機的な状況になってきたという観点から、中止という苦渋の選択を運営委員会で決定いたしました。

コロナウイルス騒動が終息した折に、イベントを再開いたします。それまで皆さん、感染予防に細心の注意に心がけていただきますように。

なお、参加予定のハガキで募集した五行詩のテーマは「コロナの時代に生きて」でした。次頁にその作品を紹介させていただきます。

(文責 榊 次郎)



①第27回総会の「集会」を中止します/イベント2020中止決定について/②イベント投稿五行詩・テーマ【コロナの時代に生きて】/③運営委員・会計監査改選の経過報告並びに次期新役員の報告/紙上詩画展の経過報告/第5回運営委員会の模様/④新入会員の詩と自己紹介(船越貴穂)/ホームページ報告/コロナアンソロジー取組経過報告/⑤「村田辰夫君を偲ぶ(薬師川虹一)/コロナに関する動向/入退会住所変更/⑥会員の活動/今後の予定/会員が発行または編集する詩誌/会員発行の詩書・詩集短評(山田兼士)/団体の会報・図書

関西詩人協会・イベント2020
五行詩投稿

テーマ

■コロナの時代を生きて

男前

男とは年を重ねて自分の顔を作るものだ
新型コロナとの闘いは長期に及ぶという
その間粉砕身努力を重ね経験をつむ
マスクが取れた時
私はきつと男前になっている

野口幸雄

遠藤カズエ

世界の太陽を齧った新型コロナウイルスは
人々の生活様式や心までギザギザにし
マスクで表情を読み取れなくした
でも私は私の言葉で全力投球する
バウンドしても構わない届けと願いを込めて

蝉

かしはらさとる

ご先祖がたの魂のお住まいは
永遠のかなた冥土の上
寸刻も子孫の身の上を案ずるか
真夏の午前のひと時 姿を得て
ミンミンと語りかける コロナに負けるなど

それでも世界は

市原礼子

変わってしまったのは私
私の中に棲みついた見えない恐怖が
世界の色を奪ってしまった
それでも 初夏の風はこんなにも爽やかで
雨あがりの空はこんなにも青い

晩年

紀ノ国屋 千

ひがし 瓜生の山にあさひ
メガネを拭いて窓を開ける
風が棟つたく流れていった
忙しくツバメがコロナの街を切っていた
夕陽は西の山に今日を閉じた

縄跳び

名古きよえ

やゝめた
みんな帰った後に
コロナ
ケンケンしている
もう人間を苦しめないで昇天しておくれ

振り返らせる

大倉 元

目が細く ひたいが狭く自信がないのよ
コロナの影響で毎日がマスクぶすなの
すれ違う人みんなが顔をそむけるのは
いいさコロナが終わったら
口と鼻がきれいな私 振り返らせるから

田島廣子

コロナウイルスはスーツとやってくる
空中にいて結核のように空気感染するらしいが
どこにいてるのか だれもわからない
コロナうつ 自死まで追い込むこわいやつ
私は貧乏で高齢だがまだ死にたくない

コロナ宇宙花
兵器とG5で活カリンリン戦争ダメよ
億年の森羅万象と進化遂げ
ああ あなたはコロナさん喰えぬ宇宙花
両手には一対の生死抱いて
気付いてみれば秋風そよ

中尾彰秀

コロナよ 愛を奪い 人と人を引き離し
握手もハグも出来なくなつた。
悲しい死の恐怖へ誘い込む。
おまえは悪魔だ。だが、自然の秩序を破壊してきた
人間への警告でもある。私は老いたが、希望はある。
友人や家族と支え合い、庭の花々を育て生き抜く。

福田ケイ

二〇二〇七夕 じいとばあ

井上良子

ながいことほつといたんとちやいまつせ
あわれなんだんや
けつたい病気はやつてな あいとうてもあえなんだ
んや
よう辛抱したなあ ほつとかれたとおもてたか
よかつたなあ世でもうあえんさかいにな よかつ
たな

宮崎の南邦和さまから贈られて
きました「アマビエ」の絵札
疫病神はやはや消え失せたまへ



運営委員・会計監査の選挙開票報告
並びに 次期「新役員」報告

本年11月の総会に先立ち、次期運営委員・会計監査の選挙開票の開票を8月8日(土)13時～15時に「大文連」の会場を借りて持ちました。予定より1時間オーバーして、開票結果が決まりました。

総投票数84票。開票作業にあたったのは、選挙管理委員長・吉田定一、選挙管理委員・嵯峨京子、阪井達生、島秀生、橋爪さち子。立会人として、事務局長の永井ますみの各氏でした。

なお、事前に被選挙人を辞退している幾人かの名も投票用紙にありましたが、票数から削除しました。また協会の現代代表である左子真由美さんは、運営委員会から推挙され、来期も重任する意向とのことですので、新役員一覧には含まれておりません。

開票日の翌日、得票結果に基づいて、高得票を得た各人に、「新役員」(次期、運営委員・会計監査・評議員)の可否に取り掛かりました。

まず、得票数の多かった上位20名から、直接電話で各氏に役員の可否を伺いました。その結果、上位20名から運営委員を承諾された方は、14名。会計監査・評議員各1名。辞退された方は4名でした。辞退された方の幾人かからは、「若い人をお願いしたい」との意向が強く表明されておりました。

残り6名の運営委員は、上位20名以降の得票数の多かった人たちから順に、役員の可否を伺いました。幸いにも若い人たちの幾人かを含めて、6人から承諾を得ることが出来、これで全ての役員が決まりました。決定した次期運営委員・会計監査・評議員の各役員の名を次に列記致します。

なお、8月の運営委員会で、選挙開票の結果報告及び、承諾された次期新役員の報告等が了承されており、11月の定時総会での承認を得てから、「新役員による体制」は発足することになります。

新役員(運営委員・会計監査・評議員)

運営委員

永井ますみ・吉田定一・嵯峨京子・松村信人・市原礼子・高丸もと子・和比古・名古屋よえ田島廣子・阪井達夫・島秀生・中尾彰秀・北口汀子・今井豊・司由衣・美濃吉昭・森下和真
阪南太郎・船曳秀隆・速水晃
会計監査 神田さよ
評議員 大倉 元

なお、新運営委員の「新任」は、10名です。

以上

(文責 吉田定一)

紙上詩画展の経過報告

二〇二〇年度の詩画展は、三十回目の記念すべき詩画展でしたが、既にお知らせしましたように中止となりました。新型コロナウイルス禍のため、展示開催は難しい状況で、冊子体の紙上「詩画展」を計画しました。左記の方が参加されます。

秋野光子、あたるしましろう、中島省吾、市原礼子、井上良子、岩井洋。大倉元、奥村和子、尾崎まこと、梶谷忠大、和比古、加藤桂、加納由将、河合真規子、北口汀子、北村こう、紀ノ国屋千、小松原恵子、斎藤明典、榊次郎、嵯峨京子、左子真由美、白川淑、田井千尋、高丸もと子、田島廣子、田中信爾、田村照視、外村文象、中尾彰秀、永井ますみ、名古屋よえ、畑章夫、原圭治、播磨カナコ、松原さおり、水崎野里子、美濃吉昭、宮崎陽子、吉川悦子、吉田定一
体裁はA5版(オールカラー)、中綴・全28ページ、1ページに2名の作品を掲載、全会員に1部(参加者には2部)配布の予定で、99号会報とともに送付します。

(文責 和比古)

運営委員会の模様 2020年度 第5回関西詩人協会

日時 2020年8月15日(土) 13:30～17:00

場所 エル大阪

出席者 左子・永井・岩井・北村・榊・市原・名古屋

和比古・吉田・松村・田島・奥村・嵯峨・高丸

欠席者 山田 田村 斎藤 藤谷 中西 横田

議事進行 北村

代表挨拶 (左子) 猛暑、コロナ禍中集合へのお礼。

入退会報告 (奥村・嵯峨・横田) 会員数247名

入会者1名(船越貴穂) 逝去(村田辰夫)

9月のイベント(9月13日予定) (榊・市原・中西)

コロナ蔓延防止に協力のため中止に決定

選挙結果 (吉田・嵯峨)

経過は3頁記載。11月の総会で承認・新田

引継ぎ 12月の運営委員会より新しく発足

コロナアンソロジーの経過報告 (北村・永井・市原

榊・中西) べ切りを9月15日まで延期。

紙上詩画展の経過報告 (吉田・和比古・田村)

会計報告 (岩井) 承認

国際交流 (村田・斎藤) なし

ホームページ報告 (松村・田島)

会報 (永井)

詩のひろば (名古屋)

総会開催の準備 (永井・北村)

・ 11月22日、例年の通りキャッスルホテルに予約していたがコロナ禍のため

・ 文書総会に決定

・ 今後の準備予定

① 10月17日 運営委員会で総会仮資料検討

② 資料を会員に送付返信依頼、締切11月15日

③ 11月22日(日) 臨時運営委員会 返信集計

確認して総会成立を確認 新旧役員仕事の

確認と引継ぎ。12月の運営委員会が第一回

の新役員による運営委員会となる。

(書記・高丸もと子)